

## <国家試験対策で寄せられる質問とその回答>

### <専門編>

Q：専門科目の応用がきかない。

A：専門科目の応用については、原理原則（判定基準・ステージ・適応と禁忌など）をしっかりと頭にたたき込んでおくことが解答への第一歩です。特に専門は例年似たような問題が設問の文面のみを変更して出題されます。問題を丸覚えではなく設問を一文一文落ち着いて読むことを心がけましょう。

Q：義肢装具が苦手。

A：義足の異常歩行の原因やソケットの形状と適合についてを簡単にまとめること。また、良く出される義肢装具の図は問題から抜き出して一覧表にして一つ一つに簡単な特徴と適応のコメントをつけておくと良い。

Q：小児の月齢はどこまで覚えておけばいいのか？

A：過去問に出されているもののみ覚えておけばいいと思います。（出題数が少ないため.....）

Q：臨床運動学の計算問題が解けない。

A：まずは単位を見てみましょう。問題文中の数字を当てはめると以外に簡単です。ただし、文中の単位の修正（1 kg = 1 0 0 0 g）には注意してください。

Q：1～40番の症例問題が解けない。

A：絵がついていたり、データがついていたりして難しく感じがちですが、計算問題以外問うている内容は基本的なことです。難しいという先入観を捨て問題文を落ち着いて呼んでみてください。臨床実習を経験している皆さんにとってそんなに恐れるものではありません。

### <共通編>

Q：解剖・生理学の勉強の仕方がわからない。

A：解剖・生理学は重要な科目です。まずは主要な器官（筋であれば良く出題されるもの）を覚えます。次に過去に受けた模擬試験でできなかった問題や苦手と思われる問題を洗い出し、その分野のキーワードを抜き出します。あとはキーワードに簡単な説明を付ける作業を行います。このようにして一つ一つできない問題をつぶしていけば点数は徐々に上がっていきます。

Q：精神医学が苦手。

A：精神医学は主要疾患（精神分裂病・躁鬱病・アルコール依存症など）の発症年齢や症状などの特徴を押さえること。また、抗精神薬の副作用を理解しておくことも重要です。

Q：臨床医学に出題される疾患名はどこまで覚えるの？

A：一つの問題として取り扱われるもの（糖尿病・血友病・心不全など）は出題頻度に応じて症状・治療を簡潔にまとめておく。組み合わせ問題に出てくるものはその形式を覚える程度でOK。

<その他>

Q：残り1ヶ月の勉強方法は？

A：やることは2つ。一つは高頻度に出題される問題を確実に解けるように頭の中で整理する。もう一つは苦手な科目・分野の問題を一つ一つ覚えていくこと。覚えたかどうかは他人に説明してみると確認できます。後1ヶ月ではなくまだ1ヶ月あるとプラス思考で行きましょう！

Q：体調が良くない。

A：国家試験が近づくと誰もがストレスや風邪などで体調を崩しがちになります。一日の生活にメリハリをつけること！これしかありません。（勉強するときは勉強、休むときはしっかりと休む）

Q：模擬試験と国家試験の相関は？

A：私の経験上、最終模試の点数－10～20点が本番点数の目安です。ただし、成績のピークが国家試験当日くらいにきていれば最終模試の点数と同等になることがあります。

Q：本番で緊張したら？

A：まずは問題を見渡して、必ず解けそうな問題を先に1問だけ解きます。それから問題1に戻ってみることをお勧めします。

Q：会場はどんな感じ？

A：私の経験上ですが、大学の講堂で多数の試験管が見守る中行われると思います。あまりきょろきょろすると試験官に怒られますので注意してください。また、例年極端に暖房がきいていて暑かったという感想を聞きますので暑がりの方は着るもので調節した方がいいと思います。

以上、合格を目指してがんばってください！